

北豊島地区活動計画

皆がまちを好きになれる
共生の場とつながりをつくろう



今ある活動の中で、
未来にもつながる活動は…

子育て世帯と高齢者が集いふれあう機会



子育てサロン×ふれあいサロン合同運動会

地域の団体と資源が協力し合う



地域子育て支援拠点「てしまの森」
誕生日会に、地区福祉委員が協力

学生や多くの団体・住民・行政・社協も参加



令和4年7月24日（日）
住民懇談会 北豊島プラザ

北豊島地区の理想は…

- ・認知症になっても住みやすいまち
- ・子どもたちが元気で、笑顔ではしゃぐ声が聞こえ、若い世代が住みやすい地域
- ・地域・保護者・学校が、顔の見える関係でいられるまち
- ・組織間の交流がすすむまち
- ・誰もが気軽に集える場所があって欲しい
- ・皆で交流ができるまち
- ・何かあったらすぐ手助けをしてくれるまち

実現するために、私たちが**できる**ことは…

- ・話し合いの場をもとう！
- ・各世代の交流をしよう
- ・地域に根付いたイベントをやろう！
- ・シニアのパワー、人材を活かそう！
- ・安全・安心で住みよいまちにするために協力しよう！
- ・高齢者から子どもへの声かけを！
- ・困っている人に気軽に声をかけよう！
- ・地域の見守り活動に参加していこう！
- ・公園の水やりから、声かけ合いへ！

そこから地域の
ことを知ることが
できる！

未来へ向けて、力を合わせて
取り組んでいこう！！

様々な団体・組織間との交流・意見交換をする！

- ・様々な団体が集まり、意見交換ができる機会をもとう！
- ・まずは「**お互いを知る**」ことから始めよう！
- ・参加したメンバーは、各自団体へ報告。意見を収集し、また他団体との**意見交換の場**へ循環⇒企画へ。できることからやろう！



今ある資源を組み合わせる！

- ・同じような取り組みを、合同で開催することも考えてみよう！

(例)・清掃イベント⇒団体と団体を組み合わせて実施
顔見知りが増え、お互いさまの関係へ！

- ・団体や地域資源と協力してできる活動をやってみよう！

(例)・お祭りを企画⇒子どもも若者も高齢者も、つながりの薄かった方々と共に力を合わせてできる機会！防災にもつながる！

- ・身近な場所で相談し合える関係をつくろう！

- ・何気ない会話の中で、悩みごとや心配ごとが話せることもある
- ・見守りや声かけ、サロンやイベント、各団体の定例会や会議などで出てきた相談を専門職や関係機関とも協力し合える方法を考えよう！



世代を超えてつながる！

- ・子ども・若者から、障がい者も高齢者も、誰でも参加できる場と機会を作ろう！

「あなたの特技を教えて」など、頼られたらうれしい住民もきっと多いはず。様々な人が集い、話を聞く場と機会を増やしていこう！

- ・他団体の活動にも参加していこう！
出向いて参加を呼びかけよう！

参加すること、出向くことで顔見知りが増え、まちがどんどん好きになる。つながりの薄いところにも、出向いて情報を発信しよう！

あきらめず関わり続ける！

- ・お互いが気にかけて、関わり続けることを大切にしよう！

関わりが難しいと感じても、あきらめずに声をかけ合おう！身近な見守りや助け合いの輪を広げ、関わり続けることが理解につながる

- ・つながりの薄いところに、意識を向けて関わる方法を考えよう！

参加状況や活動を振り返りながら、つながりの薄いところ(人・団体・エリア)についても、目配りや心配りができる方法を考えよう。まずはできるところから取り組んでいこう！



どこから取り組んでいっても、つながっていく！